

平成26年度 再評価委員会

路線名：主要地方道 武雄福富線(福吉工区)

事業名：道路整備交付金事業

(防災・安全交付金)

(事業採択後10年経過のため再評価)

1

主要地方道 武雄福富線 位置図



2

事業目的

歩道が未整備で歩行者・自転車が危険



幅員狭小のため車両交通に支障



踏切部の歩道が未整備で危険

自転車歩行者道整備により

交通の円滑化、自転車・歩行者の安全性確保

3

事業概要

- 全体事業費：18.5億円
- 工期：平成17年度～平成27年度(予定)
- 全体延長：L=1,000m
- 事業内容：改良工 L=1,000m
 - 踏切拡幅 1箇所
 - 函渠工 2箇所
 - 用地買収 8,107㎡
 - 家屋補償 32戸

事業の進捗状況

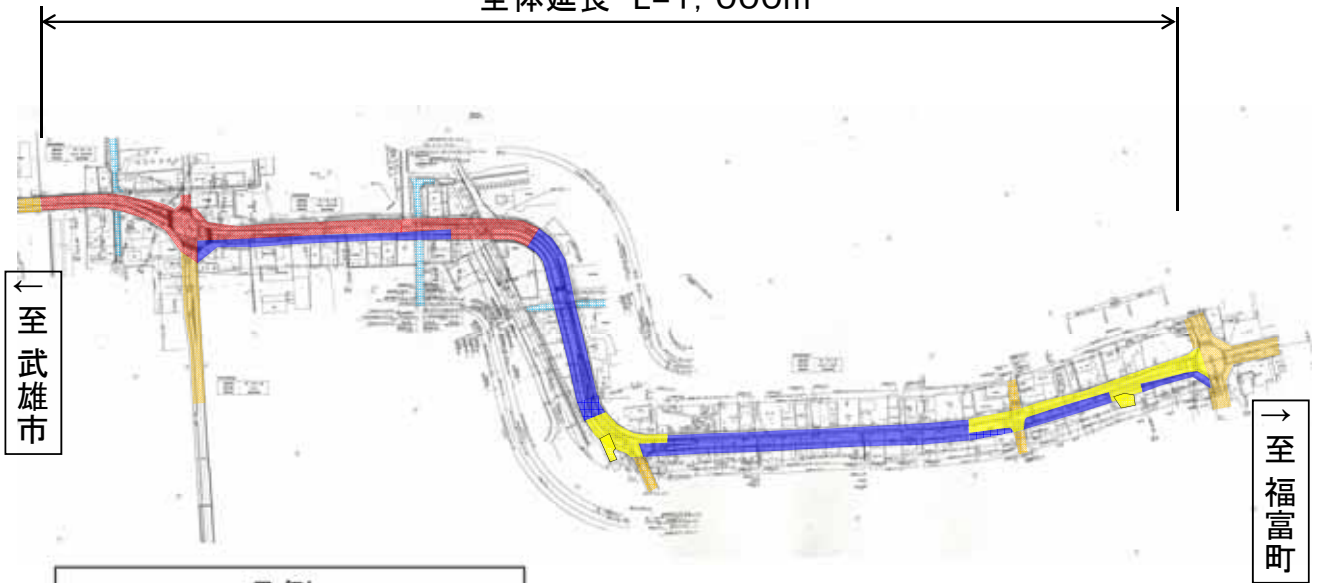
	平成25年度まで	平成26年度	平成27年度以降
事業費(億円)	14.8	1.5	2.2
進捗率(%)	79.9	87.8	100.0
用地進捗率(%)	88.8	89.2	100.0

4

主要地方道 武雄福富線 平面図



全体延長 L=1,000m



凡例	
青	平成25年度まで
赤	平成26年度施工箇所
黄	次年度施工箇所

5

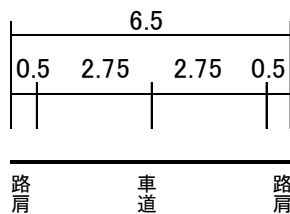
平成26年 現地状況



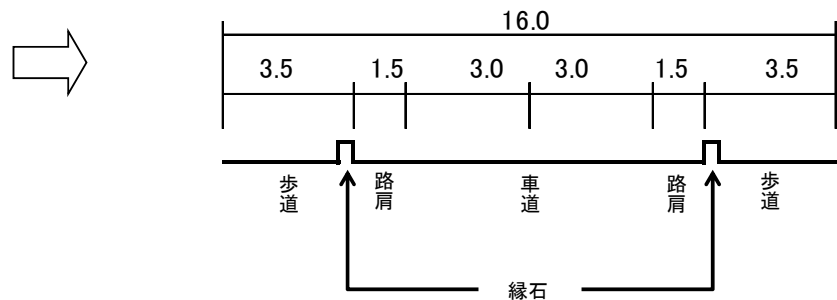
6

主要地方道 武雄福富線 横断図

現況



計画



7

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の推移

平成9年度 9,129台／日

平成11年度 9,696台／日

平成17年度 9,499台／日

平成22年度 9,119台／日

- 本路線の終点側(白石町福富)には、有明海沿岸道路福富IC(仮称)がH30年度に開通予定であり、交通量の増加が予想される。

8

費用対効果の要因の変化

- 交通安全事業(自歩道整備)であるため B/Cは算出しない。

9

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

10

対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。